

平成 25 年度一般会計当初予算のポイント

I 平成 25 年度一般会計の姿

- ★ 平成 25 年度一般会計当初予算規模は、対前年度比 15 億 9 千万円・2.8%増の 582 億 2 千万円。

	H25	H24	H23
当初予算額	582 億 2 千万円	566 億 3 千万円	564 億 8 千万円
対前年度比	+2.8%	+0.3%	+3.9%

なお、国の平成 25 年度一般会計予算伸び率 +2.5%
平成 25 年度地方財政計画（見込み）伸び率 +0.1%程度

II 歳入

- ★ **市税**は、税源移譲による市たばこ税の増、新增築家屋による固定資産税の増、三雲管内を中心とした市街化編入による都市計画税の増、企業収益の改善見込みによる法人市民税の増が見込まれ、対前年度比 3 億 8 千万円・1.8%増の 212 億 7 千万円。

	H25	H24	H23
当初予算額	212 億 7 千万円	208 億 9 千万円	208 億 2 千万円
対前年度比	+1.8%	+0.3%	△1.0%

- ★ **地方交付税**のうち、普通交付税においては、主に、税収増により基準財政収入額が増額となることから、特別交付税の実績と合わせて前年度比 2 億 5 千万円・1.7%減の 143 億 5 千万円。

- ★ **市債**は、防災行政無線整備事業が終了するものの、ごみ処理基盤施設建設事業の大幅増と、小野江小学校校舎増築事業等を計上し、対前年度比 1 億 7 千万円・4.6%増の 37 億 5 千万円。

うち、臨時財政対策債は、前年度と同額の 19 億円。

★ 財源不足に対しては、財政調整基金繰入れ、臨時財政対策債により対応。

財政調整基金繰入金は、競輪事業特別会計に対する繰出し相当額を含め 9 億 2 千万円（104.4%増）を計上。

Ⅲ 歳出

★ **消費的経費**は、対前年度比 7 億円・1.7%増の 415 億 3 千万円。**投資的経費**は、対前年度比 8 億 1 千万円・24.8%増の 40 億 7 千万円。**その他の経費**は、対前年度比 9 千万円・0.7%増の 126 億 2 千万円。

※義務的経費について

- ・ **人件費**については、退職者のピークを迎えることによる退職手当の増から、対前年度比 3 億 7 千万円・3.5%増の 109 億 4 千万円。
- ・ **扶助費**については、私立保育園運営費、障害者総合支援費等の増により、対前年度比 2 億 1 千万円・1.5%増の 139 億 5 千万円。
- ・ **公債費**については、対前年度比 5 億円・8.0%減の 57 億円。

※投資的経費について

- ・ **普通建設事業費**については、防災行政無線整備事業が終了するものの、ごみ処理基盤施設建設事業費、道路橋りょう新設改良費、小野江小学校校舎増築事業費等の増額と、観光施設整備事業費等を計上し、対前年度比 8 億 1 千万円・24.9%増の 40 億 6 千万円。

※その他経費について

- ・ **繰出金**については、競輪事業への財源補てんと後期高齢者医療事業特別会計への法定繰出しの増等により、対前年度比 5 億 4 千万円・9.2%増の 63 億 4 千万円。

IV 主な財政指標

★ 一般財源総額

402 億 9 千万円（平成 24 年度＝402 億 1 千万円 対前年度比 +0.2%）

なお、地方財政計画（見込み）上の対前年度比 +0.2%

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債と県からの交付金の合計をいう。

★ 一般財源比率

65.9%（平成 24 年度＝67.6%）

なお、地方財政計画（見込み）では 65.4%程度

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税と県からの交付金の合計をいう。

★ 市債依存度（臨時財政対策債を含む）

6.5%（平成 24 年度＝6.4%）

なお、地方財政計画（見込み）では 13.6%程度

★ 借入金残高（平成 25 年度末見込み）

496 億 1 千万円（平成 24 年度末見込み＝508 億 7 千万円）